

しつけでは、一貫した態度をとることが必要です。あるときはしかり、あるときはしからない、というような気まぐれな態度では、したことが悪いことなのか猫はわかりません。

しかるときに叩かないでください。いけないことを教えるには「だめっ」と声を出して叱れば伝わります。また、しかってきちんと判った場合にはなでてあげるなどしてほめましょう。

猫はデリケートな生き物だということを理解して、寛大な心で接してください。

里親を探すとき

Q1 里親探しの方法を教えてください。

A1 次のような方法があります。

- 友人・知人に声をかける。
- タウン誌に掲載してもらう。
- チラシやポスターを作り、獣医さん、行きつけのお店、スーパーマーケットなどの無料掲載コーナー、電柱など、なるべくたくさんのところに置かせてもらったり、掲示させてもらう。
- インターネットの里親募集リンクに掲載してもらう。

サッピーから

チラシやポスターを作るなら、なるべくその子猫の写真を入れてね。ご機嫌がいいときに声をかけて上のほうから撮影すると、見上げた姿がとってもかわいく写るよ。でも、フラッシュをたくのは絶対にやめて。子猫はまだ視力も弱いので、失明するおそれがあるんだ。

お友だちに声をかけるときも、かわいい写真をたくさん見せてあげてね。写真を引き受けてくれる人にはぜひ渡して、多くの人に声をかけてもらってください。

メイから

後始末もしっかりやってね。チラシやポスターはちゃんと回収すること！電柱に貼ったままなんてことはないように。里親が見つかって見つからなくても、協力していただいたところにあとできちんとお礼を言うのは当然のことですね。



Q2 里子に出すのはいつごろからがよいでしょうか。

A2 トイレのしつけができてからですね。かわいいさかりで順応性もある生後2ヶ月ごろからでしょう。

Q3 子猫がほしいと連絡がきたらどうしたらよいですか？

A3 里親希望の人が現れたら、慎重に判断しましょう。本人に会うこと、飼育環境を確認すること、飼い方を確認することが重要です。

①まずは希望者に会い、住所と固定電話を確認し、猫が暮らす場所を実際に見せてもらいましょう。

いじめるために引き取ろうとする人たちや、動物実験用に売るために里親希望を装う人たちがいます。善意の人や愛猫家のふりをしたり、獣医さんや愛護団体を装ったりして連絡してくるので、気を付けてください。連絡がきたときに、1ヶ月後、3ヶ月後、6ヶ月後に、家族全員と一緒に撮した日付入りの写真を送ってもらえるか尋ねてみましょう。また、住んでいるところを見に行くことを話しましょう。次回の連絡をしてこない人は相手にしないでください。

ちょっとでも不信な点があれば、渡すのをやめましょう。不安に思う点などがあれば、どんどん質問しましょう。

猫を見に来たとき、おもちゃ扱いしたり扱いが乱暴な人は要注意です。よく話しをしてみて、どこか気にかかる点のある人には渡さないでください。

じょうずな断り方も練習しておきましょう。「ほかにも希望者がいるので、数日お待ちいただけますか？」「今日すぐにはお渡しできないので、あとで連絡していいですか？」など。